

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	地域で防災と福祉が連携する西豊田インクルーシブ防災活動の実践研究				
研究組織	代表者	所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	江原 勝幸
	研究分担者	所属・職名	西豊田学区連合自治会自主防	氏名	岩崎 智宙
		所属・職名	豊田自治会・会長	氏名	田中 利政
		所属・職名	西豊田地区民児協・副会長	氏名	三好 敏春
		所属・職名	西豊田地区社協・会長	氏名	山田 勝久
		所属・職名	静岡市社協駿河区センター・主査	氏名	池谷 雄介
		所属・職名	西豊田小学校・教頭	氏名	北沢 佳子
		所属・職名	豊田中学校 PTA・会長	氏名	村松 伸隆
		所属・職名	静岡市西豊田地区・支部長	氏名	松下 高之
		所属・職名	ひまわり事業団・理事長	氏名	小久江 寛
		所属・職名	静岡市障害者協会・会長	氏名	牧野 裕嘉
発表者	所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	江原 勝幸	

講演題目	地域で防災と福祉が連携する西豊田インクルーシブ防災活動の実践研究
研究の目的、成果及び今後の展望	<p><b>【研究目的】</b>          本研究は静岡市駿河区西豊田学区で平成 28 年度から要配慮者支援をテーマに福祉と防災を融合させたインクルーシブ防災活動の令和 5 年度実践研究である。地域防災活動の内容がマンネリ化し、参加者も固定化する中、地域防災活動に (1) 子育て世代の参加、(2) 中学生の参画、(3) 要配慮者支援を組み込み、平時にも福祉と防災が連携する活動や訓練を通して災害時にも誰ひとり取り残さないコミュニティを目指す。</p> <p><b>【研究成果】</b>          コロナ禍の 3 年間は地域の防災訓練は中止又は規模縮小の中で、本実践研究は事前研修及び感染症対応の避難所開設訓練を実施した。コロナ 5 類以降に伴い本年度の実践研究はより発展させ、6/17 に事前研修①避難所運営 (参加者 109 人)、10/27 に事前研修②避難生活ワークショップ (参加者 52 人) を地域住民対象に実施した。どちらの研修も子育て世代の参加者が多くあり、研究目的 (1) の地域での広がりが見られた。これらの研修を受け 12/2 には実践訓練として避難所運営・生活体験「リアル HUG」夜バージョンを実施した。訓練では豊田中学校生徒が積極的に避難所運営に参加し、総務班、施設管理班、食料物資班の運営に主体的に取り組んだ。避難所の福祉スペースでは要配慮者班及び静岡 DWAT 隊員が障がい者などの個別支援を行い、研究目的 (3) の実践的な訓練を行った。また、参加者は 172 人あり、親子の参加も多くみられた。また、これまでの活動課題である他地域への広がり二向け、3/2「福祉防災シンポジウム」では R5 年度の西豊田活動報告を行った (参加者 130 人)。</p> <p><b>【今後の展望】</b>          今後も西豊田学区において福祉と防災が連携する防災活動を継続していく。課題として 1) 地域内及び 2) 他地域への活動周知や浸透がある。市内で人口規模が最大 (2 万超) の西豊田学区に活動を広げていくのは大きな課題であり、令和 6 年度は防災活動に積極的な学区内単位自治会をターゲットに事前研修及び実践訓練を実践し、徐々に学区内に浸透させる戦略を取る。また、他地域への広がりでは本実践研究に興味を示している葵区 2 地区と連携し、西豊田モデルをベースに各地区の特色や実情に合わせたインクルーシブ防災活動を展開していく。</p>